

(様式第 6 号)

我新小発第 19 号
令和 7 年 8 月 8 日

我孫子市教育委員会 あて

我孫子市立新木学校 学校運営協議会
会 長 松田 謙一郎

令和 7 年度 第 2 回 学校運営協議会 会議報告書

このことについて、我孫子市学校運営協議会規則第 12 条の規定について、次のとおり報告します。

出席委員氏名

新木小学校：松田謙一郎、川村眞一、横山悦子、茂手木まどか、
久本英雄、佐々木優、織原明彦

湖北中学校：竹内達夫、川田章仁、中野真弓、長田さおり、佐藤 夏、細川公平

湖北小学校：城健夫、杉本欣也、古内新一、牛尾眞志、草道達也、
加藤理巳、根本真三子、園陽平

欠席委員氏名

新木小学校：久野晋作、佐藤和臣

湖北中学校：田口誠

記録者氏名：新木小学校・佐々木優

(令和 7 年 8 月 1 日実施)

主な議事	発言者	協議・発言等の概要
1 各学校の実態・課題報告	湖北中学校長	・防災教育に力を入れている。中学校から小学校への引き渡し訓練を合同で実施し、小中連携を図ることが今後の課題である。
	湖北小学校長	・学力向上や不登校児童、外国籍児童及び保護者のフォローが児童生徒に関わる課題である。 ・学校運営に関わる課題は、安全指導である。放課後の公園での遊び方や自転車の乗り方、通学路の歩き方で、地域の方々からご意見を頂くことがあるので、本会議でご意見を伺いたい。
	新木小学校長	・不登校児童や特に「書く」ことへの学力が、児童生徒に関わる課題である。 ・学校運営に関わる課題としては、教職員の若年化・子育て世代の増加が顕著であること。
2 課題解決のための協議（※湖北小の課題グループを抽出）	新木小委員	・自転車の乗り方について、法律と絡めて子どもたちに周知させる。 ・毎年各校で実施している「交通安全教室」を発展させて、警察と連携を図れると良い。

3 解決策の共有	湖北中 委員	・保護者の協力を求めたい。交通ルールを徹底するためには、子どもたちと一緒に歩く機会に、一緒に教えてあげられると良い。 ・意図的に機会を作ることが大事である。「子どもたちは、これくらいは知っているだろう」ではなく、毎年、どの学年でも交通安全教室等の取り組みを継続させて「知る」機会を作ることが必要である。 ・学校から警察に働きかけることが必要。
	新木小 教頭	
	湖北小 委員	
	湖北中 教頭	・新木小学校の「学力向上（読み取る力・思考力）」の課題解決に向けて、全学年で「音読」を実施し、保護者にも協力を得ている。体育の研究を通じて「聞く力」の向上も狙っている。湖北小学校では、学校運営協議会が主体となって、放課後学習会に取り組んでいる。毎回30名近くの児童が参加し、学習に向かう姿勢が広がっている。
	新木小 教務	・上記2と同様。
4 次回の開催予定について	湖北小 教務	・湖北中の「防災教育」の課題解決として、火事や地震等、いろいろな場面を想定して避難訓練をしていることを全体で共有した。湖北中学校では、各学年が防災教育のテーマを決めて、取り組んでいる。中学校から小学校への避難・引き渡しの際、引率職員はどうするか、小中どちらで引き渡すか等、細かい部分も協議できた。また、避難所設営の訓練も必要。
	新木小 教務	・次回は令和7年12月3日（水）15時より。場所は湖北小学校。

傍聴人0人（発言者数0人）